

1歳ですよろしく



すこやかにのびのびと大きくなあれ!

池田朱里ちゃん
(西古泉)

平成16年4月26日

父 仁さん
母 静さん



祐香おねえちゃんと仲良く元気に遊んでください。

城戸郁美ちゃん
(新立)

平成16年4月11日

父 英二さん
母 祥子さん



わんぱく郁夢。お兄ちゃんと仲良く大きく育てね。

武本郁夢くん
(西古泉)

平成16年4月10日

父 力哉さん
母 亜里砂さん



えがおのかわいいがいりちゃん。スクスク大きくなってね。

有光海莉ちゃん
(南黒田)

平成16年4月27日

父 健二さん
母 文子さん



これからもいっぱい食べていっぱい笑って大きくなってね。

白石桃子ちゃん
(北黒田)

平成16年4月25日

父 洋一郎さん
母 洋子さん

5月に1歳になられるお子さんの写真を募集しています。背景が明るい写真をお持ちのうえ、4月1日(金)~11日(月)の執務時間中に役場3階総務課秘書広報係へ(先着6名まで)。

随想

公民館活動

上高柳 杉 正信



「四国遍路は日本の公民館か」平成14年10月県民文化会館で開催された「全国公民館研究会集全体会」の記念講演で、作家・早坂暁先生が講演された時の演題です。

先生は「日本全国に何万箇所もの公民館や集会所があり、いろいろな人たちが集って人々と触れあい、協力して何かをするという力の出発点となっています。四国遍路は、人々がどんな想いでやって来るか……四国は日本の人たちの心の避難場所という感じがしてなりません。公民館は、災害などの際避難する場所によ

く使われますが、四国遍路というのは公民館が側にあるように、心の災害にあって苦しんでいる人が避難場所をこの四国に求めてやって来る……ことで、四国遍路と公民館は相通ずるものがあると思えます。」

平素の雑念を忘れさせてくれたすばらしい講演は、今でも心の中に強く残っています。公民館活動は、地域づくり、人づくりで、集会所などを拠点として地域の人々が活動しています。現実と理想のギャップに悩むこともありま

参加する人により変化がない……ことから、これを打開するため関係者が率先して、子どもや若い人々が参加しやすい環境づくりに取り組むことを模索し……続けたことで、今一步のところまで近づくと

ができたように思います。また、地域の方々の力強いボランティアに支えられて、行事が成功した時の喜びは今でも「ありがとうございました。」と声を大きくしたい気持ちいっぱいです。

松前湧水太鼓の勇壮な演奏など、他所では見られない充実した内容に大勢の方から「楽しい一日だった」と喜びの声が聞かれると、この種伝統行事はいつまでも続けなくてはならないと強く思います。

公民館活動に終わりはない……それぞれの立場で自然体の「向かう笑顔に矢は立たず」の明るい気持ちで人々と触れあっていることで、より多くの参加が得られ、すばらしい地域性が生まれると思います。短い間でしたが、私の心のカメラに残っている喜び、悩みが交錯する想い出です。